

辰巳・2017 断固応援！

予備受験生フォローアップセミナー

短答から論文へチェンジ

確実に合格答案を書くために基本知識を徹底確認！

<第1部>

— 法律基本7科目編 —

H27 予備試験合格・H28 司法試験合格

豊富 育 講師

辰巳法律研究所

TOKYO・YOKOHAMA・OSAKA・KYOTO・NAGOYA・FUKUOKA

一 目 次

1. 論文式試験までのスケジュール	1
2. 合格に向けてやっておきたいこと総論	1
3. 合格に向けてやっておきたいこと各論	1
4. 使用教材等	3
5. 試験直前期に気をつけたいこと	3

予備試験短答式試験から論文式試験の合格までの道のり

文責 豊富 育

1. 論文式試験までのスケジュール

こんにちは。私は、平成27年度の予備試験に合格し、平成28年度の司法試験に合格しました中央大学法学部出身豊富育と申します。本日はよろしくお願ひします。

まずは、予備試験短答式試験の合格おめでとうござひます。合格の喜びに浸りたいところですが、予備試験論文式試験まであと何日残されているでしょうか。本日が5月27日で、今年の予備試験論文式試験は7月16日からですので、本日をに入れて51日しかありません。試験科目を基本7法と刑事民事の両実務科目の9科目だとすると、試験までに1科目に5日以上かけることはできないということになります。過度な焦りは不要ですが、あまり時間的余裕はないということを知っておいていただけたらと思ひます。

2. 合格に向けてやっておきたいこと総論

- ・近時の問題量に対応すべく時間を測って答案を書くこと
- ・過去問を中心にやること
- ・模試の受験
- ・予備試験にしかない実務科目の対策を含めて計画的な勉強をすること
- ・一冊問題集を絞ってやりきること

3. 合格に向けてやっておきたいこと各論

3.1 憲法

とにかく主張反論型の問題になれることが重要である。過去問をやりきって余裕がある方は司法試験を解いてみると良い。統治については、自分で作戦を練ること。

3.2 行政法

近時は、訴訟要件と本案審理の論点が双方主題されている。H28年が訴えの利益、H27年は処分性が出題されているので原告適格などが怪しいかもしれない。訴訟要件の問題は司法試験を使って演習すると良い。本案については、昨年裁量の問題が出題され、司法試験の問題に似てきている。やはり司法試験を解くことは良い演習になる。ただ、余裕がない人は『事例研究行政法』で演習すること。

3.3 民法

なにか問題集を一冊選んでやり抜けば良いと思う。本番は未知の論点が出題される可能性が高く、臨機応変に対応すること。要件事実は、民事実務科目で出題される可能性が高く、民法と相關的に押さえること。

3.4 商法

難易度の高い論点の出題は例年ないと思われる。その分点数をとれるところで確実に行きたい。対策としては問題集一冊あれば十分だと思われる。

3.5 民事訴訟法

ここも典型論点を押さえておけば良いと思われる。ただ、複雑訴訟も出題されるので注意すること。問題集を一冊回しておきたい。

3.6 刑法

各構成要件を押さえて試験に望むこと。マイナー犯罪（H27年賄賂）も出題されることもあるので万遍なく押さえること。

3.7 刑事訴訟法

捜査・証拠共に回すこと。余裕がある方は司法試験の採点実感を読むと求められていることがわかる。

3.8 民事実務科目

実務科目は過去問を必ず検討すること。そして、要件事実はある程度理解しておくこと。二段の推定も出題されることから理解しておくこと。請求の趣旨を書かせる問題も多い。請求の趣旨は正確な記載が求められることから、覚えておくべき。また、準備書面を書かせる問題も出題されている。

3.9 刑事実務科目

公判前整理手続が近時は多く出題されているので、その理解は必須です。H26年より出題されていなかった事実認定がH28年は復活しているので、過去問の検討をしておくこと。

4. 使用教材等

4.1 憲法

司法試験過去問及び『憲法ガール』、確認として旧司法試験解説『合格思考憲法』

4.2 行政法

司法試験過去問及び『行政法ガール』『行政法解釈の基礎—「仕組み」から解く』、『事例研究行政法』

4.3 民法

『事例で学ぶ民法演習』『事例から民法を考える』『合格思考民法』の中で一冊

4.4 会社法

『事例で考える会社法』

4.5 民事訴訟法

『基礎演習民事訴訟法』

4.6 刑法

『刑法事例演習教材』

4.7 刑事訴訟法

『事例演習刑事訴訟法』

4.8 実務科目

『新問題研究 要件事実』『紛争類型別の要件事実—民事訴訟における攻撃防御の構造』『民事裁判実務の基礎 刑事裁判実務の基礎』『法律実務基礎科目 ハンドブック 1 民事実務基礎』『法律実務基礎科目 ハンドブック 2 刑事実務基礎』

4.9 過去問検討

『ぶんせき本』

5. 試験直前期に気をつけたいこと

- ・ホテル等の予約
- ・模試の申込み
- ・体調に気をつけて計画的な勉強

ご静聴ありがとうございました。

辰 巳 法 律 研 究 所

東京本校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-6
TEL03-3360-3371（代表） ☎ 0120-319059（受講相談）
<http://www.tatsumi.co.jp/>

横浜本校：〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-23-5 銀洋第2ビル4F
TEL045-410-0690（代表）

大阪本校：〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-13 東梅田パークビル3F TEL06-6311-0400（代表）

京都本校：〒604-8187 京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435
京都御池第一生命ビルディング2F TEL075-254-8066（代表）

名古屋本校：〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3 第2アスタービル4F
TEL052-588-3941（代表）

福岡本校：〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-17 西日本ビル8F TEL092-726-5040（代表）

岡山校：〒700-0901 岡山市北区本町6-30 第一セントラルビル2号館 8階
穴吹カレッジキャリアアップスクール内 TEL086-236-0335